

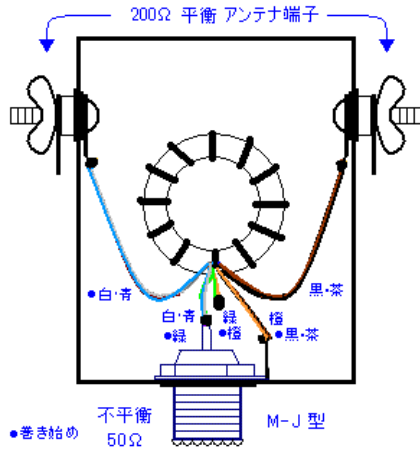
アンテナバラン 組立部品セット DB-200H-v2

50Ω 不平衡 : 200Ω 平衡 0.5MHz~70MHz
 許容入力電力 : 連続 100W / CW 200W / SSB 300W
 サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量 約 120g

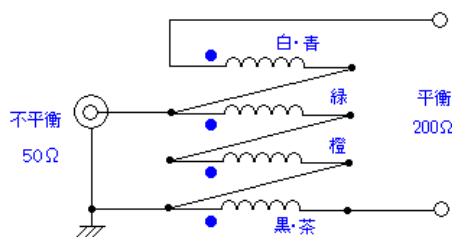
50Ω : 200Ω バランの作り方

- 6本組より被膜線を、コアに、12回巻きます
- その被膜線の白と青線 黒と茶線の両端を、結線ねじり合わせます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
(結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

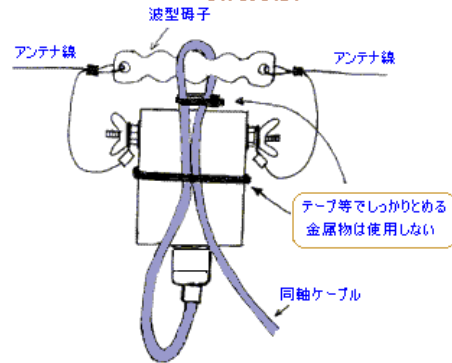


回路図



巻き数比 = 2:4 = 1:2
 インピーダンス比 = 1:4 = 50Ω : 200Ω

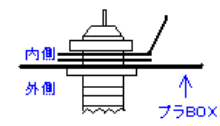
バラン取付方法



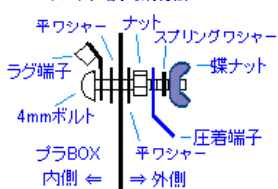
部品表

フェライトコア 2643801002---1
6本組被膜より線---55cm
M型接栓座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型端子---1
結束バンド---2

同軸接栓座MBRの取付方

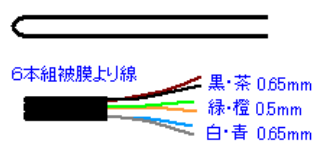


アンテナ端子取付方法

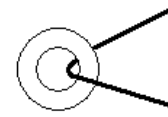


コアの巻き方

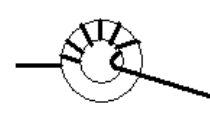
- 6本組より被膜線を半分ほどで折り返します



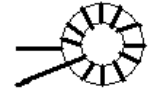
- 6本組被膜より線をコアに約半分の長さで通します



- 半分の6本組被膜より線を6回巻きます (コア内通過数)

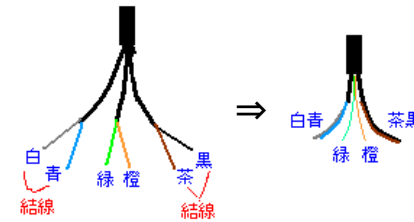


- もう半分の6本組被膜より線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます

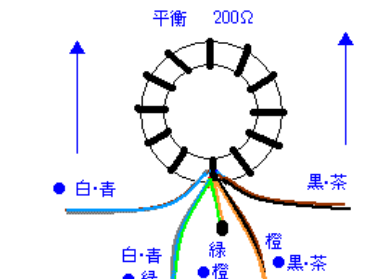


5. 端末処理

コアに巻いた6本組被膜より線の白と青線 黒と茶線の両端を、下記のように結線ねじり合わせます

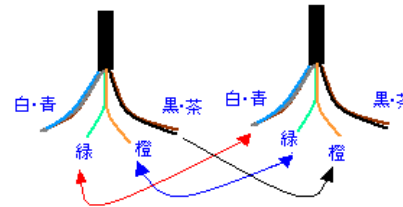


結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (緑と●橙)

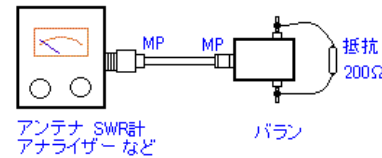


6. 端末配線

6本組被膜より線の両端を、下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます



SWR測定方法



抵抗は短く接続します
 (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

株式会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

コア完成例



URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp